



健全育成シリーズ(102) 心を育てる

「虐待」、嫌な言葉ですが、日本のみならず世界の大きな関心事であることは、間違いない事実であると思われまます。

連日のようにテレビ、新聞などで親殺し・子ども殺し、また心ない大人の幼児へのストレス発散のための刺殺事件、決してあってはならない施設でのいじめや虐待と言われている行為、目を覆いたくなるような生々しい映像に自分の子を重ね合わせ「なんてことを・・・」と思わず声をだしてしまふ場面、そしてくやし涙を何度流したことでしょう。

今、大人の心が病んでいます。病んでいる大人が親として子育てをしている現実。決して、子どもの心を育てることはできません。

数十年前は『井戸端会議』なる場があちら、こちらで開かれています。若かった私は「くだらない世間話」と少々非難の目で見たものでした。それが親になつて初めて井戸端会議の素晴らしさを感じました。今で言う

ならば、情報収集とか意見交換、また悩みの相談などの場であつたと思います。豊かな近隣との交流があり、大人も子どももゆつたりとした『心の豊かさ』を育



んでいた良き時代であつたと思えます。

時代の流れで『社会不安』の多い現在、その社会の中で人との関係の難しさゆえに悩める人の増加、相談相手もなく孤立し、孤独となり、そのストレスが幼い子や弱い者に刃が向けられていくのではないのでしょうか。

昔の『井戸端会議』をもう一度考えてみましょう。情報収集や気分転換になるエネルギー補給をしていたお母さん方の素晴らしい知恵、その時代、時代での井戸端会議はきつと持てるはず。人は一人では生きていけない、それならば人との付き合いも努力すべきだと思えます。「歩みは遅くても身近なことから、できることから始める」この一歩が大切です。

子どもは『安心とやすらぎのよりどころ』となる真の親を求めています。この求めに答える親になつてほしいし、また親が安心して子育てのできる環境を家族やまわりの人も協力することを忘れてはなりません。

大人の心の病を克服しない限り悪循環は続き、悲しい事件はなくならないでしょう。今にも幼い子やお年寄りの悲鳴が聞こえてくるような気がします。

すべての人に子どものころがあり、また間違いなく老いていく現実。今一度自分を見直し改めるべきことは改め『暖かい心』の持ち主になつてほしいです。

人と接する時、自分の心を開いて相手に見せることできつとそれに答えてくれると思えます。土の中に水がしみ込むように、人の愛もきつとしみ込んでいくことを確信して。

伝言板

大月保健所

大月市大月町花咲1608-3

☎(22)7824

「スマーク」登録店を利用しましょう!

「スマーク」とは、理容業、美容業、およびクリーニング業について、法律で定められた消費者(利用者)擁護に資するための標準営業約款制度です。

この登録店では、店頭に「スマーク」を掲示し、事故が発生した場合の賠償保険や施設や設備、仕事やサービスの内容などを表示して、技術・衛生・安全を保障しています。

12月1日は「世界エイズデー」です

世界エイズデーは、世界レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別、偏見の解消を図ることを目的として、WHOが世界に呼びかけ定めたものです。今年度のエイズデーのテーマは「若い命のためにも、聞いて、学んでエイズのことを」です。

我が国では、一九九〇年から異性間性交渉による患者や感染者が増加しています。それにもかかわらず、人々のエイズへの関心が薄れがちとなりつつあります。

そこで、厚生省や保健所では、未来を担う若者たちに、正しい知識をそなえてもらい、若者への感染拡大を防止し、これを通じて国民全体に啓発普及をすすめていきます。

現在、エイズは麻疹やインフルエンザなどと同様の予防可能な感染症という認識にたち、感染症予防法の一疾病として特別な見方はなくなりました。

また、早期発見により、適切な治療効果が高まっています。不安になりましたら、ためらわずに、いつでも保健所や医療機関に電話でご相談ください。



詳しくは、財団法人山梨県環境衛生営業指導センターへお問い合わせください。

☎055(232)1071

※お知らせ

12月28日(火)の一般健康相談(クリニック)は、血液検査のあるものについては受け付けができません。